

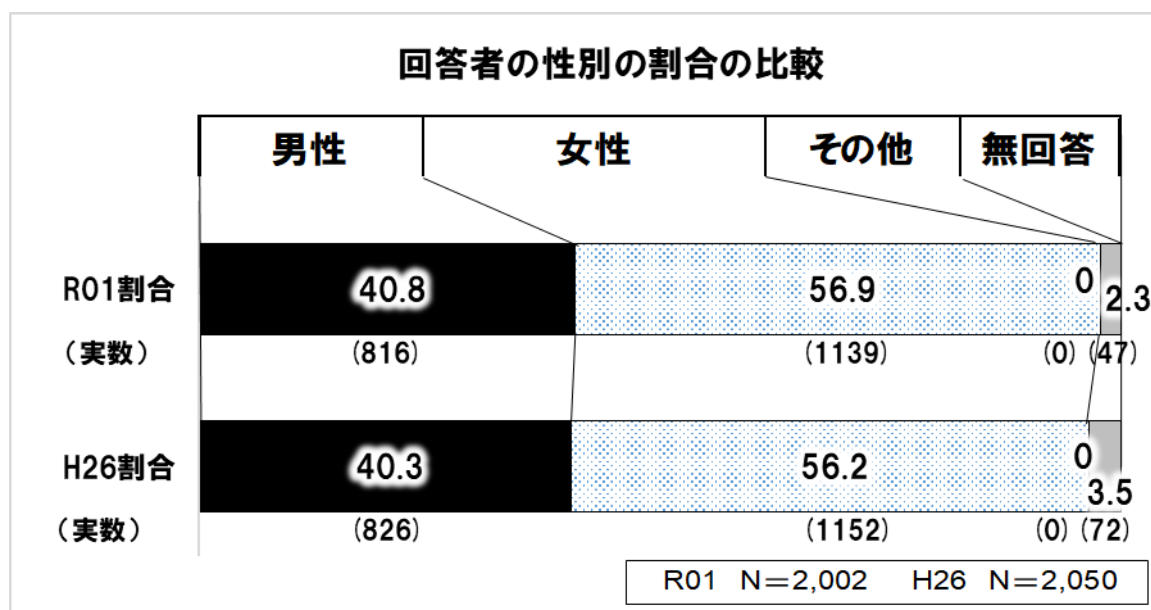
## 「地域の福祉に関するアンケート調査」追加分析

○ 前回の分科会において委員よりリクエストいただいた項目（前回調査（H26）との比較）

- ・対象者の属性（年代等）や回答率の変化〔p1～2〕
- ・地域や人とのかかわりの程度や交流の重要性が下がっている要因と回答者の年齢構成の関係性〔p3～4〕
- ・「地域での支え合い経験」の年代別比較〔p5〕
- ・「地域での支え合い経験」と地域特性の関係性〔p6～8〕

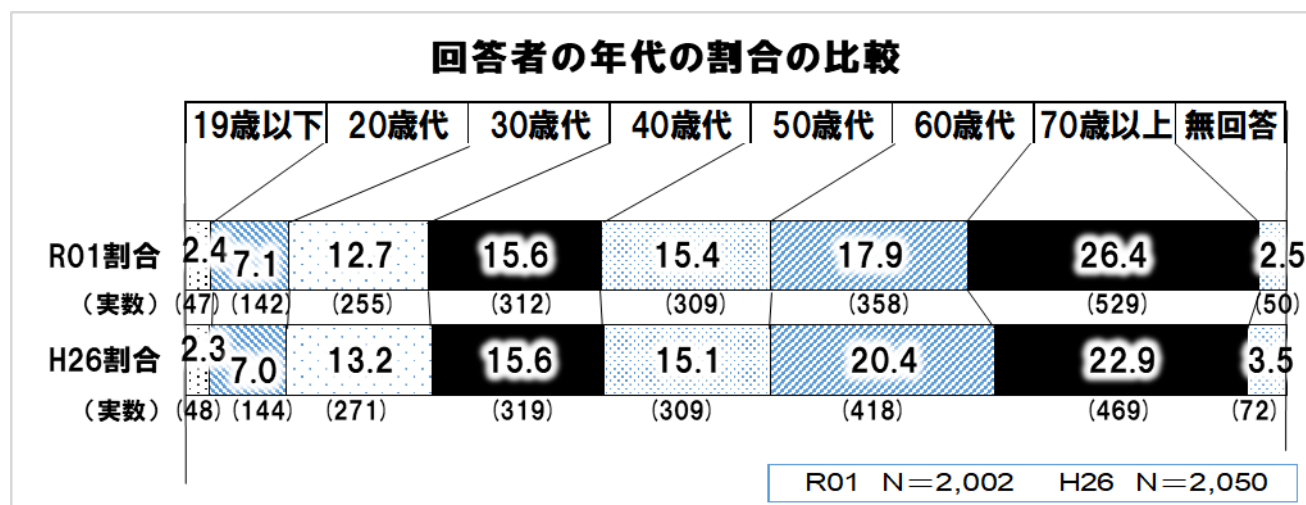
## ◆属性比較（性別）◇

アンケート回答者の性別は、前回調査と比べ、有意な差は見られない。



## ◆属性比較（年代）◇

アンケート回答者の年代は、前回調査と比べ、有意な差は見られない。



◆年代別に見る回答率◇

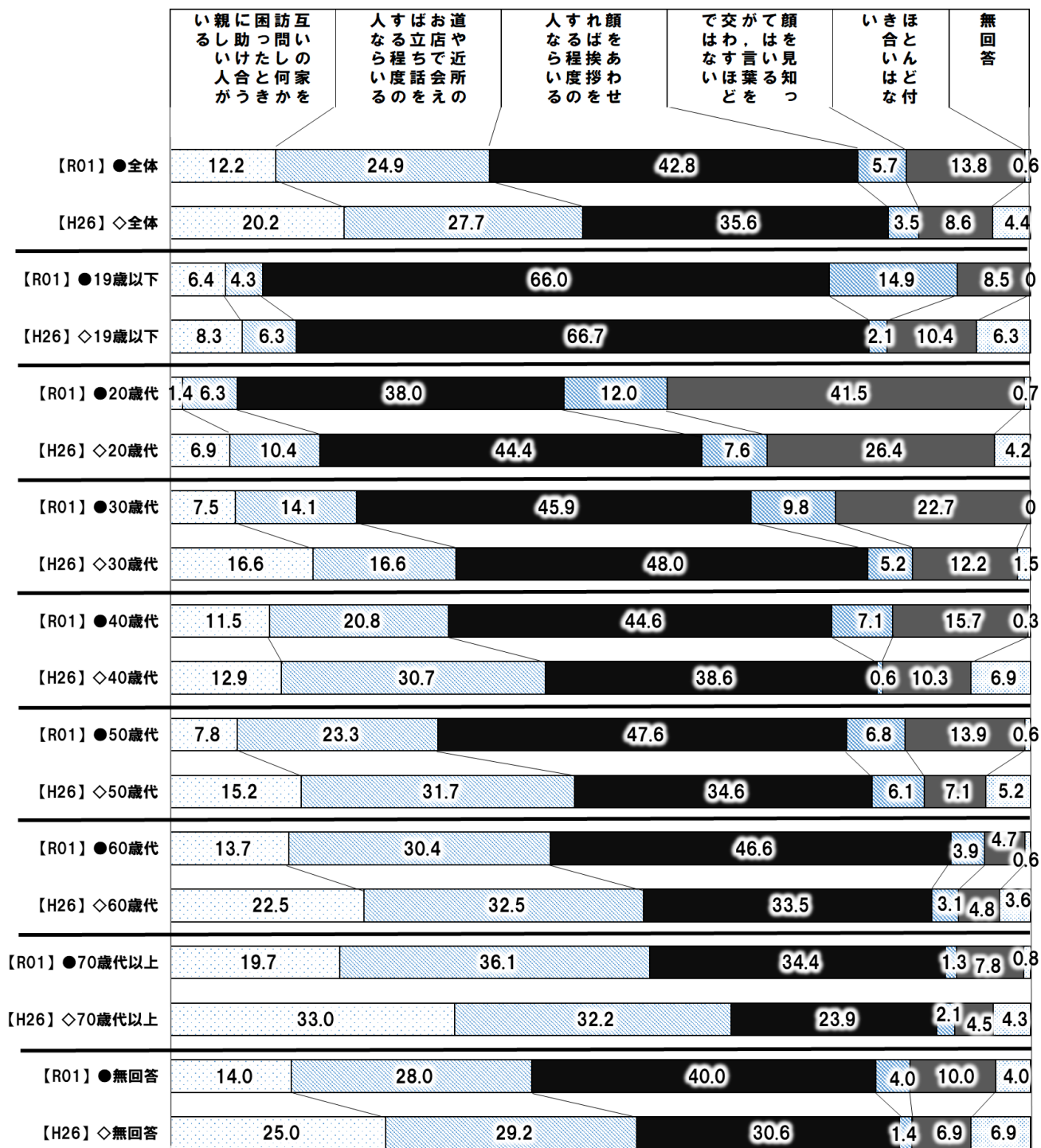
特筆すべき有意差は見られない。

		年代別回答率							
		19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
【R01】●送付数 (合計5,000通)		227	681	756	923	737	699	977	
【H26】◇送付数 (合計5,000通)		217	696	863	892	710	748	874	
【R01】●回答数 (合計2,002通)		47	142	255	312	309	358	529	50
【H26】◇回答数 (合計2,050通)		48	144	271	319	309	418	469	72
【R01】●回答率 (%)		20.7	20.9	33.7	33.8	41.9	51.2	54.1	
【H26】◇回答率 (%)		22.1	20.7	31.4	35.8	43.5	55.9	53.7	

◆地域や人とのかかわりの程度（問 12）の比較◇

どの年代も H26 調査に比べ、つながりが弱くなっていることがうかがえる。

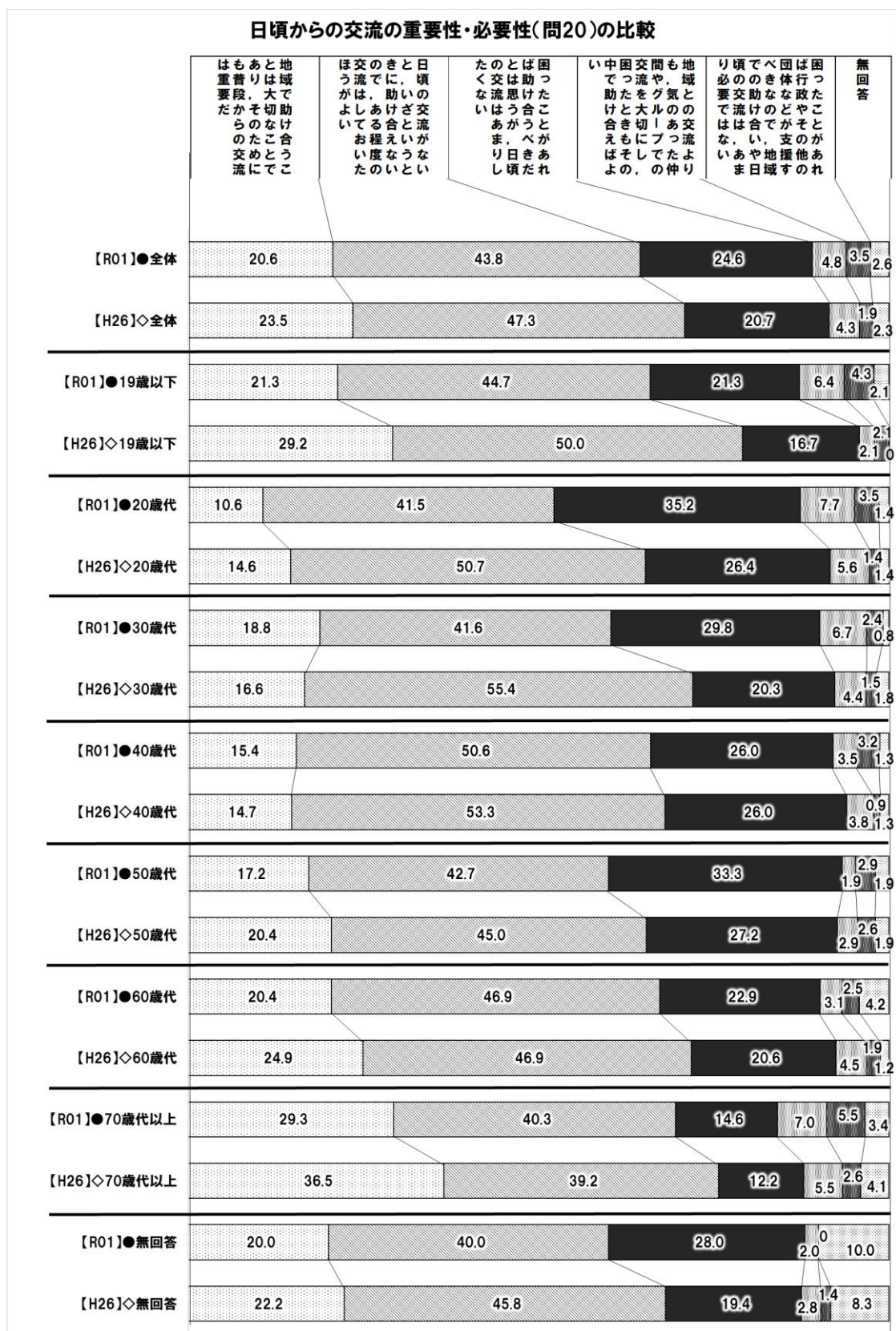
地域や人とのかかわりの程度（問12）の比較





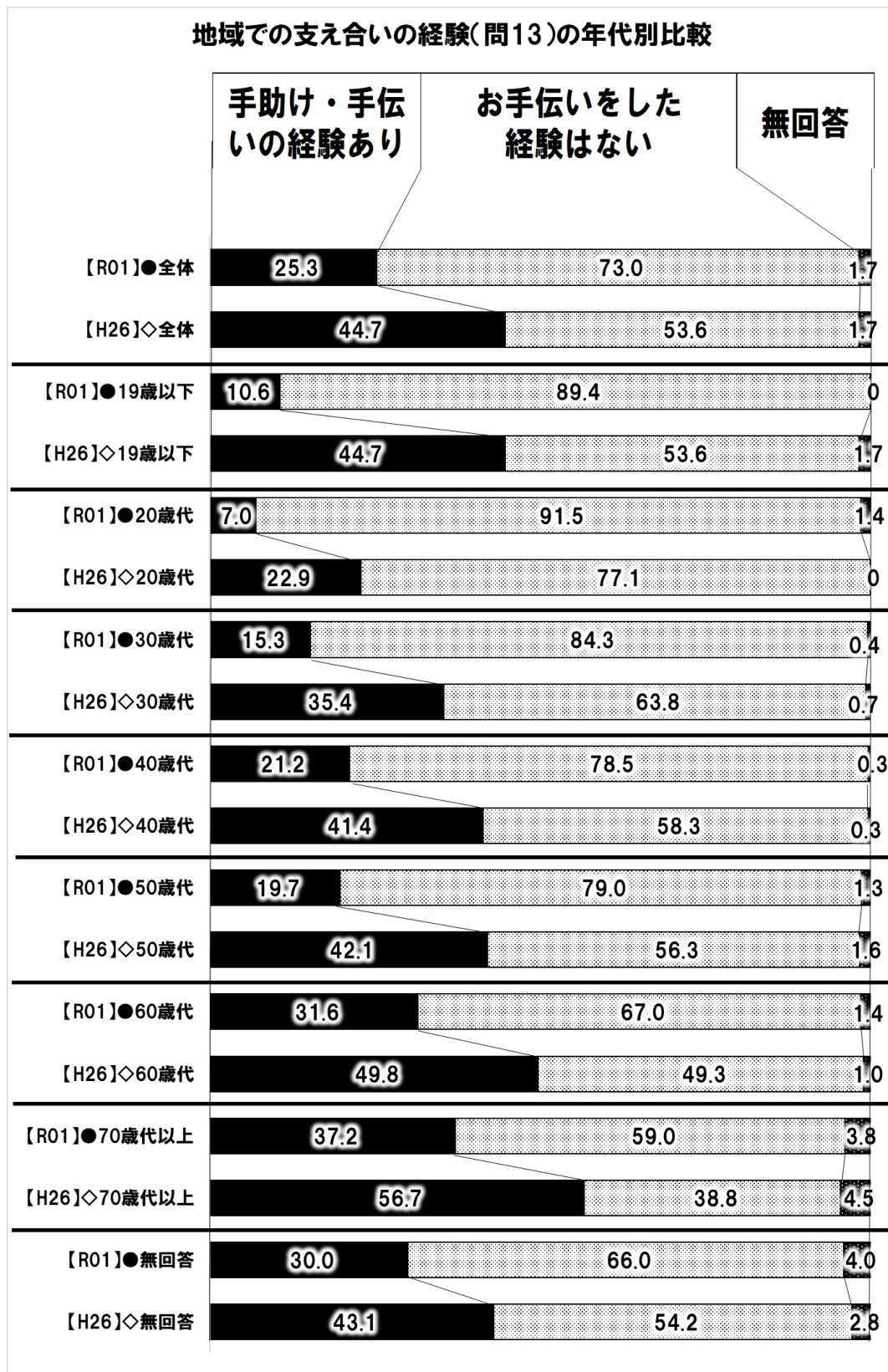
◆日頃からの交流の重要性・必要性(問 20)の比較◇

H26 調査に比べ、交流の意識が低くなっているが、30 代、40 代では重要だと回答している人が増えている。  
しかし、交流はあまりしたくないと回答している人も増えている。



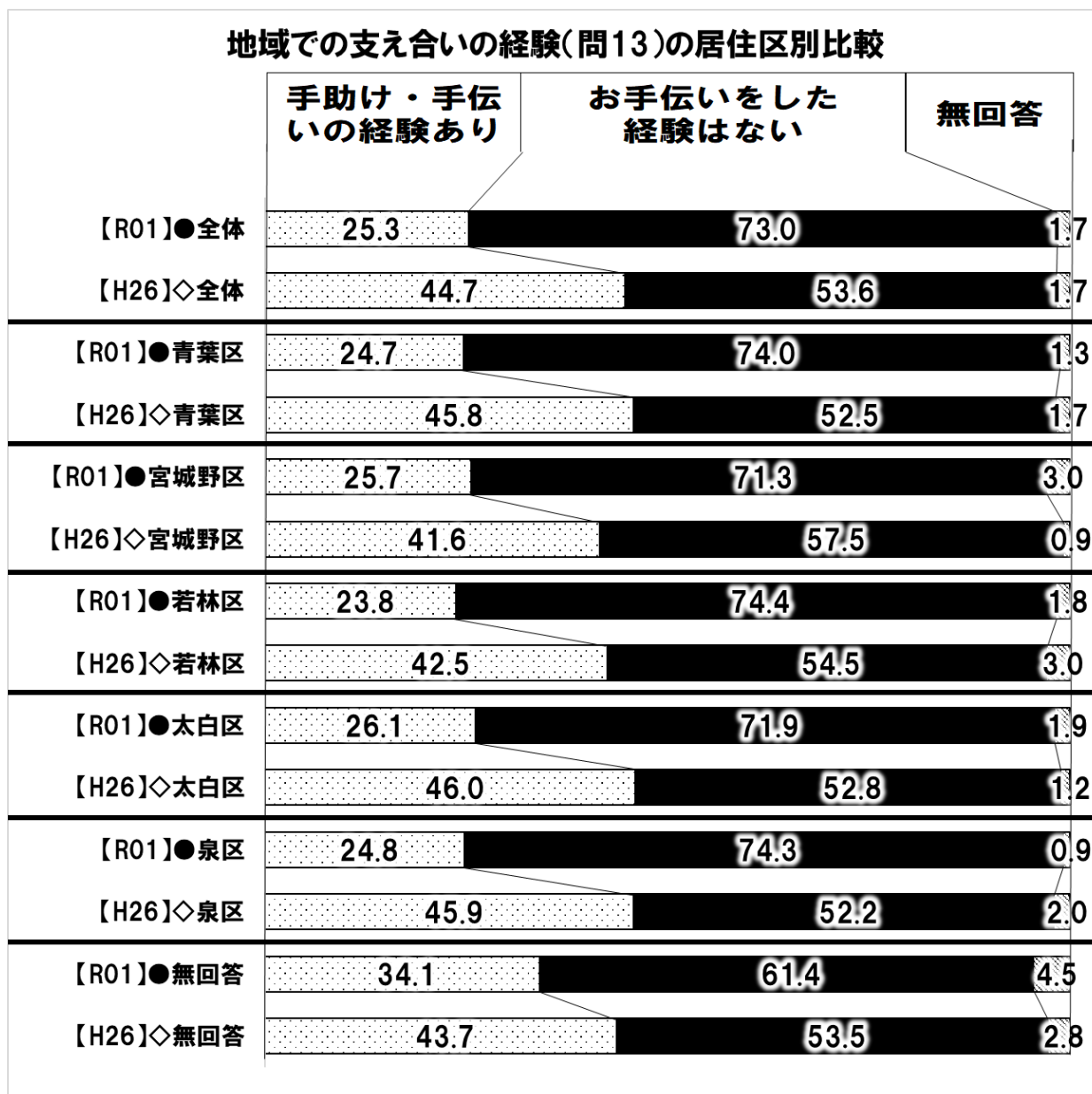
◆地域での支え合いの経験(問13)① 年代比較◇

全世代で、支え合い経験の減少傾向が見えるが、特に若い世代は減少度合いが激しい。



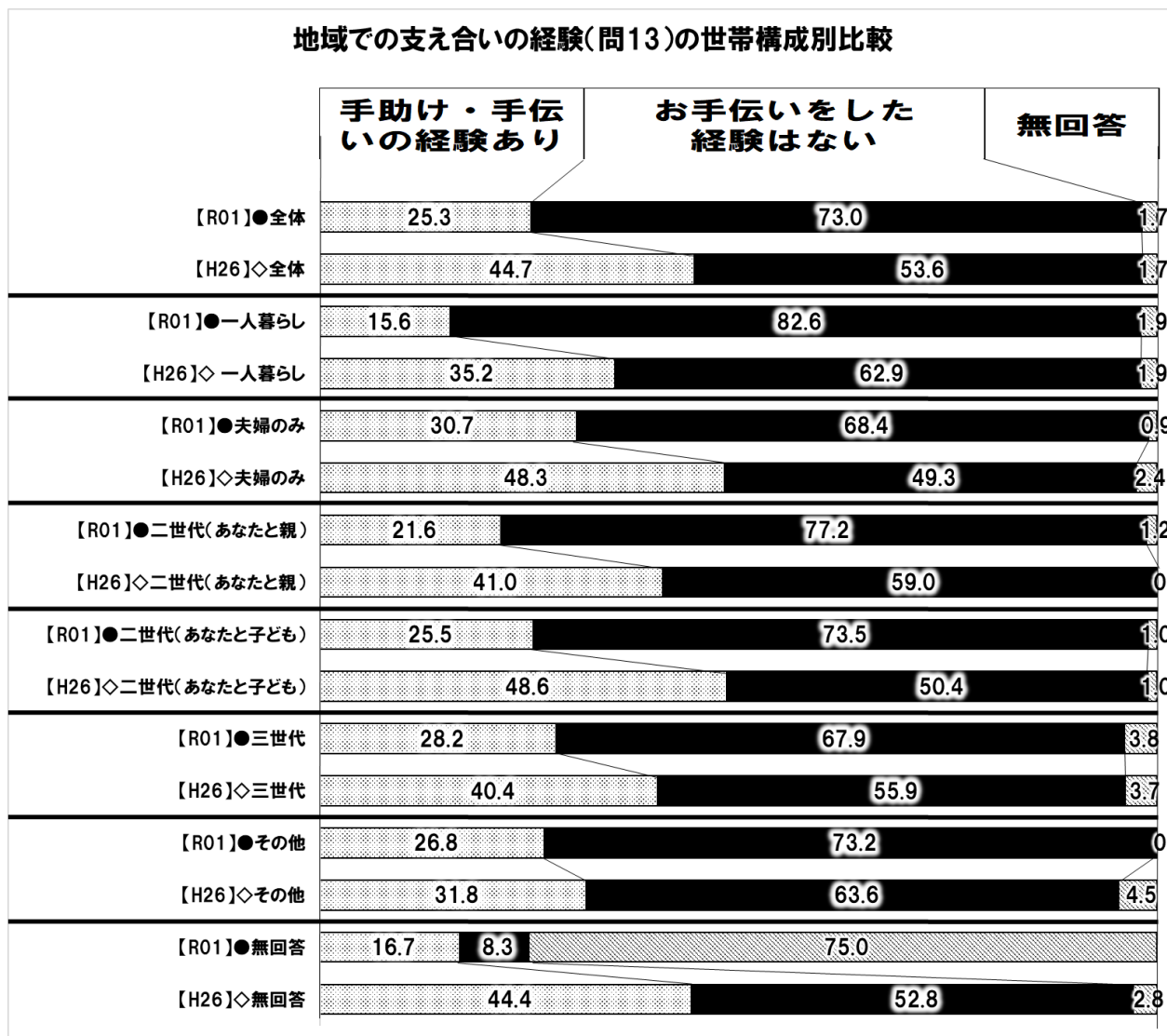
◆地域での支え合いの経験(問13)② 居住区比較◇

居住区による減少の度合いに有意な差は見られない。全区同様の傾向である。



◆地域での支え合いの経験(問13)③ 世帯構成比較◇

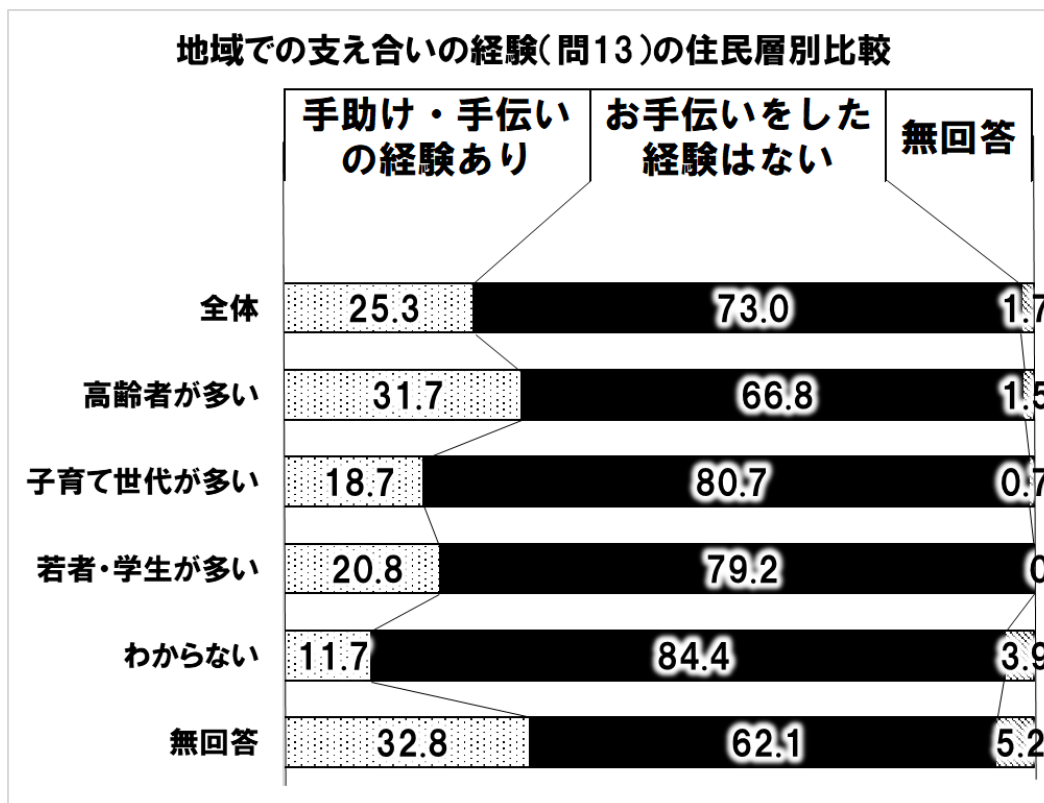
一人暮らし世帯の支え合い経験が半減以下に減少している。同じ二世帯世帯でも親との同居よりも子供との同居世帯のほうが支え合い経験がある。今回の調査では夫婦のみの世帯が最も支え合いの経験が多い結果となった。





◆地域での支え合いの経験(問13)④ 住民層別比較◇

高齢者が多いと感じている地域に居住する住民のほうが支え合い経験が豊富である。



◆地域での支え合いの経験(問13)④ 住居形態別比較◇

共同住宅と一戸建ての支え合い経験には大きな開きがみられる。賃貸の共同住宅ほど支え合い経験が少ない。

